

第18回全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会） バスケットボール競技実施要領

1 競技規則

平成30年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、コーチ1名、アシスタント・コーチ1名、マネージャー1名および選手12名以内とする。ここでいうコーチとは、ゲーム中実際にチームを指揮する者を指す。
- (2) コーチ、アシスタント・コーチまたはマネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合、選手の数、選手を兼ねるコーチ、アシスタント・コーチ、マネージャーを含めて12名以内とする。
- (3) 男女別にチームを編成する。

3 競技方法

- (1) 試合は、男女別トーナメント方式とし、3位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に、交流戦を実施する。
- (2) トーナメント戦のゲームは、10分のピリオドを4回行うものとし、第1ピリオドと第2ピリオドの間および第3ピリオドと第4ピリオドの間にそれぞれ2分のインタヴァルをおく。第2ピリオドと第3ピリオドの間に10分のハーフ・タイムをおく。
- (3) 交流戦のゲームは、10分のピリオドを2回行うものとし、第1ピリオドと第2ピリオドの間に2分のインタヴァルをおく。第2ピリオドは、公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則の第4ピリオドのルールを適用する。ただし、第2ピリオド終了時に同点の場合は勝敗を決しない。

4 服装等

- (1) 出場選手は濃色と淡色（白色）の2種類のユニフォーム（シャツ）を用意し、原則として組合せ番号の若いチームが淡色（白色）のユニフォーム（シャツ）を着用すること。ただし、2試合目以降については、両チームの協議により、ユニフォーム（シャツ）の色の濃淡を変更することができる。
- (2) 番号は、0、00および1から99までの番号を使用し、審判とスコアラーにはっきりと分かるようにつけること。

5 試合球

試合球は、公益財団法人日本バスケットボール協会検定球とし、男子は7号球（モルテンGL7x）、女子は6号球（モルテンGL6x）とし、主催者が用意する。

6 組合せ

組合せは、平成30年8月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いの下に代理抽選の上、決定する。

7 チーム・ベンチ

チーム・ベンチは、組合せ表の番号が若いチームをオフィシャル・テーブルに向かって右側とする。

8 開始式・表彰式

開始式および表彰式は競技会場で行う。

9 その他

- (1) 平成30年10月12日（金）に監督会議を行う。
なお、監督会議の時間および場所は別途通知する。
- (2) 開始式および表彰式に参加する選手は、原則として、ユニフォーム（シャツ）またはジャージ（いずれかにチームで統一）を着用すること。
- (3) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (4) 会場内の秩序については、競技役員の指示に従うこと。
- (5) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。
- (6) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。